

工 事 番 号								
施工年度	令和 7 年度		通学路安全対策工事（市道棕本足蔭線） 三原市南方二丁目					
施工月日	令和 年 月 日							
施工方法	請 負							
工事期間								
工 事 概 要				起 工 理 由				
施工内容 施工延長 L=148m 薄層舗装工 A=116m2 区画線工 L=431m 区画線消去工 L=64m								

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市南方二丁目 通学路安全対策工事（市道棕本足蔭線）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ その他関連規格類

第2節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第3節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第4節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する 9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9 の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事に伴い通行止めが発生する場合は、地元への周知を徹底すること。

第2節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督職員と協議の上調査すること。 （設計変更の対象とする。）
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	監督員と協議するものとする。

第3節 安全対策

1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

作業期間中の交通誘導員は、工事期間中において3（人／日）を見込んでいる。

第4節 その他

1 工所用機資材の仮置き

場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

3 法定外の労災保険 の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- 1 土木工事共通仕様書（令和6年8月）『1-1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

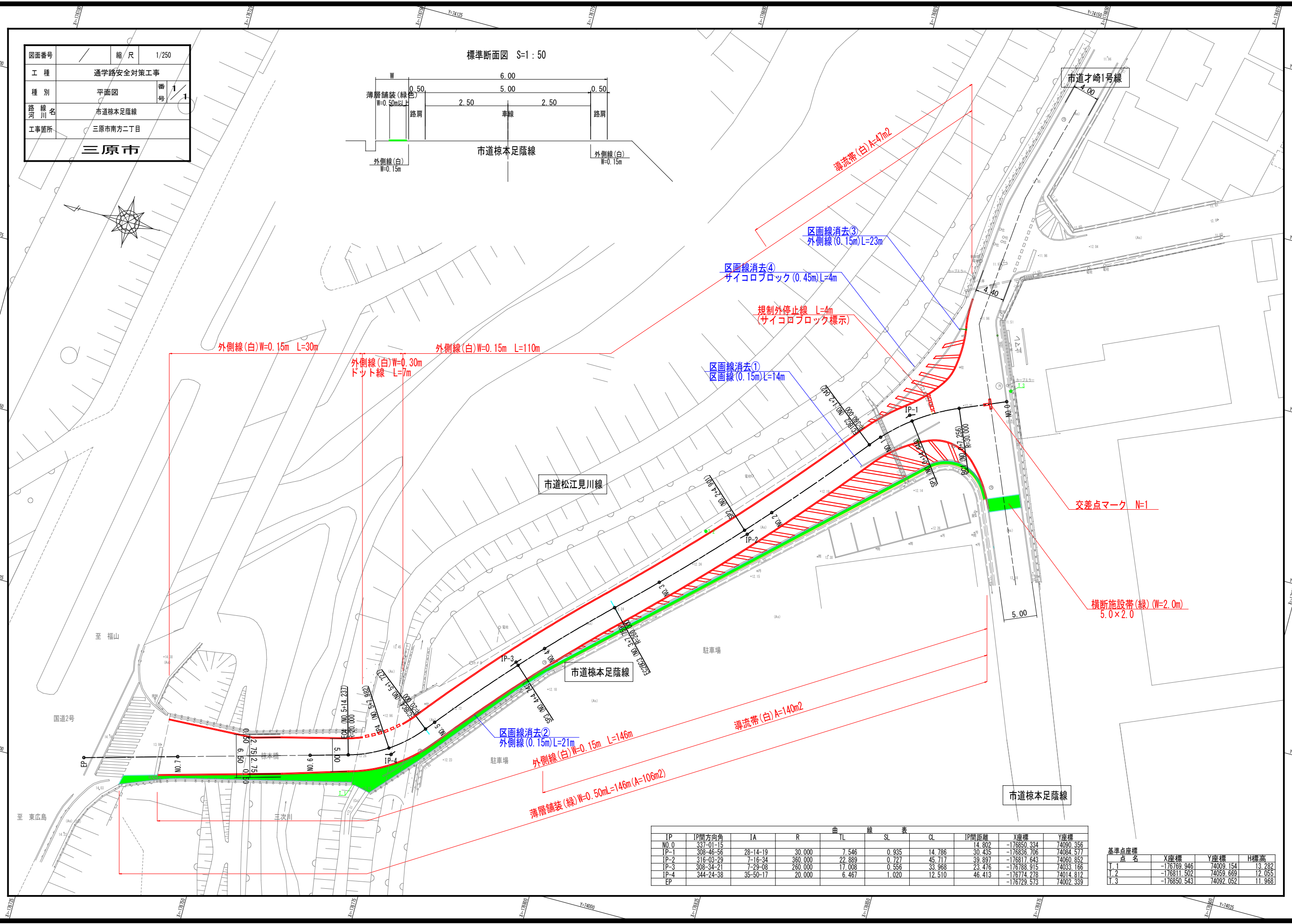
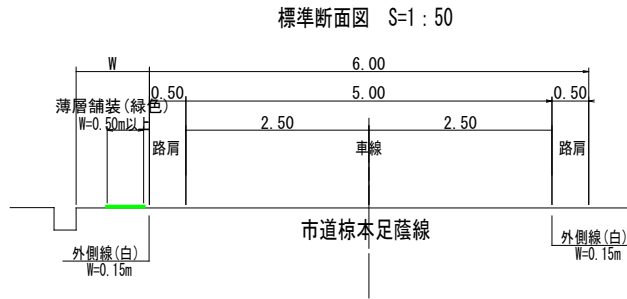
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路修繕		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
薄層カラー舗装工		式		1	レベル3
薄層カラー舗装	舗装色：緑色	m2		106	レベル4
薄層カラー舗装	舗装色：緑色	m2		10	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
溶融式区画線	実線_15cm	m		290	レベル4
溶融式区画線	破線_30cm	m		4	レベル4
溶融式区画線	破線_45cm	m		2	レベル4
溶融式区画線	ゼブラ_45cm	m		130	レベル4
溶融式区画線	矢印・記号・文字_15cm換算	m		5	レベル4
区画線消去	削り取り式	m		64	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		6	レベル4
直接工事費					

工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

図面番号	／	縮 尺	1/250
工 種	通学路安全対策工事		
種 別	平面図	番 号	1 / 1
路 線 名	市道棕本足蔭線		
工事箇所	三原市南方二丁目		
三原市			



曲線表									
IP	IP間方向角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
NO.0	337-01-15						14.802	-176850.334	74090.356
IP-1	308-46-56	28-14-19	30.000	7.546	0.935	14.786	30.435	-176836.706	74084.577
IP-2	316-03-29	7-16-34	360.000	22.889	0.727	45.717	39.897	-176817.643	74060.852
IP-3	308-34-21	7-29-08	260.000	17.008	0.556	33.968	23.476	-176788.915	74033.166
IP-4	344-24-38	35-50-17	20.000	6.467	1.020	12.510	46.413	-176774.278	74014.812
EP								-176729.573	74002.339

基準点座標			
点名	X座標	Y座標	H標高
T.1	-176769.946	74009.154	13.282
T.2	-176811.502	74059.669	12.055
T.3	-176850.543	74092.052	11.968

参 考 資 料

— 通学路安全対策工事（市道棕本足蔭線） —

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-07.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	06 舗装工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路修繕					Y1G02 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0204 レベル2
薄層カラー舗装工	1	式			Y1G020406 レベル3
薄層カラー舗装 舗装色：緑色	1	式			Y1G02040607 レベル4
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 [規]100m2以上	106	m2			SS000219 00
薄層カラー舗装 舗装色：緑色	106	m2			単第0 -0001 表 Y1G02040607 レベル4
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 [規]100m2以上	10	m2			SS000219 00
区画線工	10	m2			単第0 -0002 表 Y1G0209 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工					Y1G020901 レベル3
	1	式			
溶融式区画線 実線_15cm					Y1G02090101レベル4
	290	m			
区画線設置(溶融式) 実線_15cm					SDT00001 00
	290	m			単第0 -0003 表
溶融式区画線 破線_30cm					Y1G02090101レベル4
	4	m			
区画線設置(溶融式) 破線_30cm					SDT00001 00
	4	m			単第0 -0004 表
溶融式区画線 破線_45cm					Y1G02090101レベル4
	2	m			
区画線設置(溶融式) 破線_45cm					SDT00001 00
	2	m			単第0 -0005 表
溶融式区画線 ゼブラ_45cm					Y1G02090101レベル4
	130	m			
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm					SDT00001 00
	130	m			単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
溶融式区画線 矢印・記号・文字_15cm換算	5	m			Y1G02090101レベル4
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	5	m			SDT00001 00 単第0 -0007 表
区画線消去 削り取り式	64	m			Y1G02090104レベル4
区画線消去(削り取り式)	64	m			SDT00005 00 単第0 -0008 表
仮設工	1	式			Y1G0230 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G023021 レベル3
交通誘導警備員	6	人			Y1G02302101レベル4
交通誘導警備員B	6	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
一般管理費計					
※※工事価格※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

樹脂系すべり止め舗装工

SS000219

單第0 -0001 表

RPN-301

[規]100m²以上

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

樹脂系すべり止め舗装工

SS000219

單第0 -0002 表

RPN-301

[規]100m²以上

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0003 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0010

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0003 表

1000

m

当り

実線_15cm

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)
破線_30cm

SDT00001

単第0 -0004 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,186.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	52.500	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	76.650	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=7 破線_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0012

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0004 表

1000

m

当り

破線_30cm

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0005 表

破線_45cm	名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
	昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
	トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
	ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
	プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
	軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	84.000	L			
	諸雑費	1	式			
	*** 合計 ***	1,000	m			
	*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 C=8 E=1	昼間施工 破線_45cm アスファルトに設置の場合			B=1 D=1 F=1	白色 塗布厚t=1.5mm 時間的制約なし	
G=1 I=1	- -			H=1 J=1	- -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0014

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0005 表

1000

m

当り

破線_45cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0006 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	93.450	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=12 ゼブラ_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0006 表

1000

m

当り

ゼブラ_45cm

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字_15cm換算

SDT00001

単第0 -0007 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

区画線設置(溶融式)

矢印・記号・文字_15cm換算

SDT00001

單第0 -0007 表

1000 m 当り

[illegible]

施工単価表

区画線消去(削り取り式)

SDT00005

単第0 -0008 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_区画線消去【手間のみ】 削り取り式_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	62.000	L			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	35.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 時間的制約なし D=1 -(全ての費用)		

[illegible]

通学路安全対策工事

数量集計表

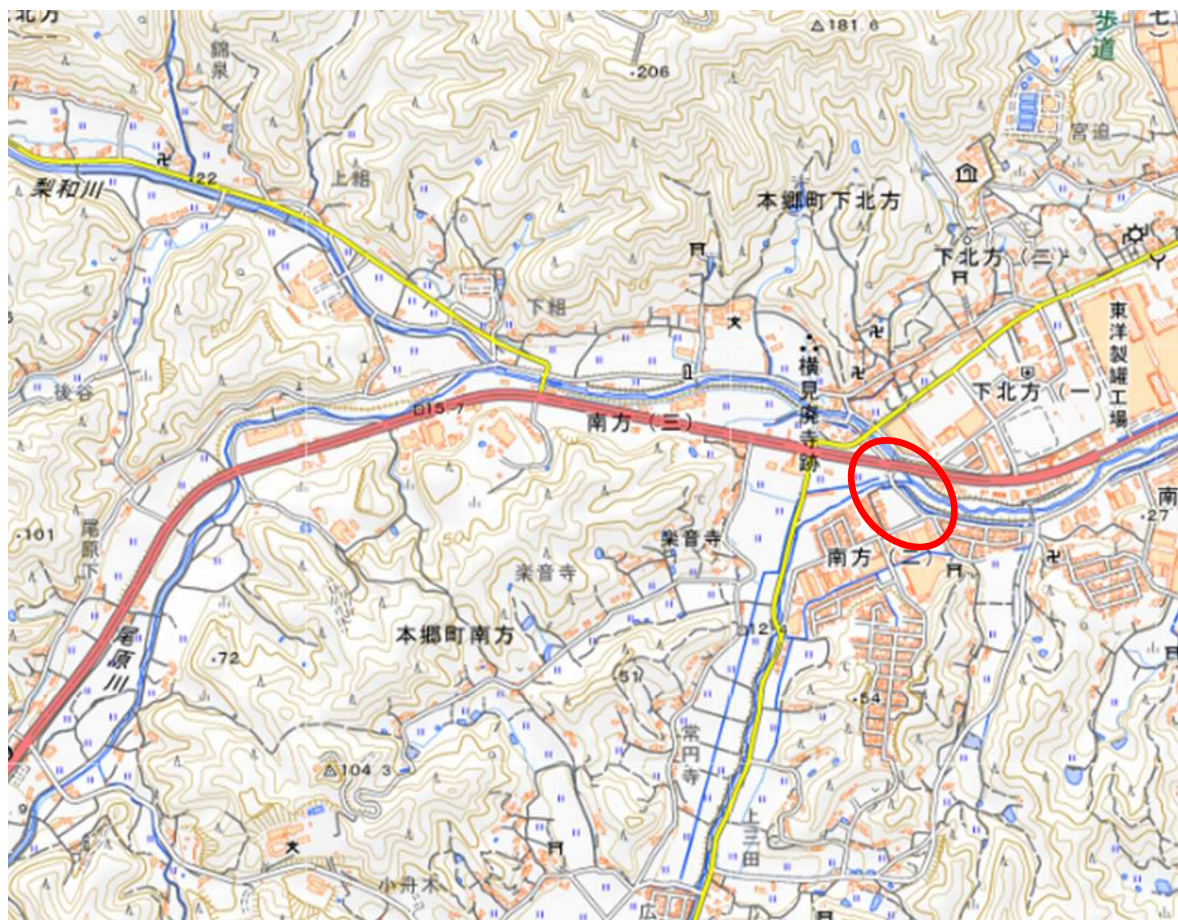
名 称 及 び 測 点	区画線		導流帯	規制外停止線	交差点マーク	カラー舗装	横断施設帯	
	外側線、実線	外側線、ドット	ゼブラ	サイコロブロック	丁字	緑色	緑色	
	W=0.15m	W=0.30m	W=0.45m	W=0.45m	W=0.30m		W=2.0m	
単 位	m	m	m ²	m	箇所	m ²	m	
			(0.45:1)					
	146.0	7.0	140.0	4.0	1.0	106.0	5.0	
	30.0		47.0					
	110.0							
			【総面積】					
計	286.0	7.0	187.0	4.0	1.0	106.0	5.0	
	塗装延長	塗装延長	塗装延長	塗装延長	塗装延長	塗装面積	塗装面積	
計	L=286.0m	L=3.5m	L=129.0m	L=2.0m	L=2.4m	A=106.0m ²	A=10.0m ²	

通学路安全対策工事

数量集計表

名称及び測点	区画線消去							
	外側線、実線	サイコロブロック						
	W=0.15m	W=0.45m						
単 位	m	m						
①	14.0							
②	21.0							
③	23.0							
④		4.0						
		【設置延長】						
		4.0						
		【塗装延長】						
		2.0						
		【塗装面積】						
		0.9						
計	58.0	6.0 (15cm換算)						

位置図



国土地理院地図を使用したものである。